

第2回

# 日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

主催者企画

第2回 公式参加国サミット

## 開催報告

---

一般社団法人 夢洲新産業・都市創造機構 事務局作成

## 主催者企画

< 主催 > (一社)夢洲新産業・都市創造機構

< 後援 > 京都府 / 京都市 / 「大阪・関西万博」京都支援協議会 / (公社)2025年日本国際博覧会協会  
(一社)関西経済同友会 / (公社)関西経済連合会 / 大阪商工会議所

< 協賛 > プラチナ: 阪急電鉄(株) ゴールド: オムロン(株) / 岩井コスモ証券(株) / (株)竹中工務店  
シルバー: (株)長谷工コーポレーション / 相互タクシーホールディング(株)

## メイン企画 / 第2回 公式参加国サミット

第2回日本国際芸術祭の主催者企画として、11月7日(木)にメイン会場である世界遺産 龍谷山 本願寺(西本願寺)にて、「第2回 公式参加国サミット」をリアル参加形式にて開催致しました。

< 日程 > 11月7日(木)13:00 ~ 17:20 < 形式 > リアル参加形式

< 会場 > 世界遺産 龍谷山 本願寺(西本願寺) 書院「対面所(鴻の間)」(国宝)

< 開催趣旨 > 夢洲新産業・都市創造機構では2023年より「公式参加国共創フォーラム」を継続して開催しています。第6回はフォーラムより大規模な「第2回公式参加国共創サミット」として開催致しました。公式参加国の代表者から万博への期待や、世界の国々との共創を通じて、多様な文化・価値観の相互理解が進み、いのち輝く未来社会を創造する国際的な交流・共創の輪が広がっていけば幸いです。※終了後は交流会にて、ご登壇者の皆様と名刺交換や交流をしていただきました。



## 会場 世界遺産 龍谷山 本願寺(西本願寺)



浄土真宗本願寺派の本山。1272(文永9)年宗祖・親鸞聖人末娘覚信尼が京都の東山大谷に建立した廟堂に始まる。第3代覚如上人のときに本願寺と公称。第8代蓮如上人の尽力により大教団に発展。1591(天正19)年豊臣秀吉が寺地を寄進、現在地に移った。1602(慶長7)年本願寺は東西に分立。御影堂と阿弥陀堂はともに国宝。書院の庭園(特別名勝)は桃山文化を代表する枯山水様式。その他、わが国最古の能舞台である北能舞台、唐門など桃山文化を今に伝える国宝建造物を多数有している。美術工芸品では三十六人家集(国宝)などを所蔵。1994(平成6)年12月「古都京都の文化財」として、世界文化遺産に登録された。



### ◀ 書院「対面所(鴻の間)」(国宝)

本願寺の書院では一番規模の大きい広間で、ご門主との対面に使われたところからこの名がある。上段正面の欄間に雲間を飛ぶ鴻の透かし彫りがあることから、鴻の間とも呼ばれている。



開会のご挨拶



龍谷山 本願寺 執行長 藤貫 無極氏



2025年大阪・関西万博 カナダ政府代表 ローリー・ピーターズ氏



駐大阪大韓民国総領事館 総領事 チン・チャンス氏

第1部 講演



政府代表 特命全権大使(関西担当) 姫野 勉氏



在大阪タイ王国総領事館 総領事 アックラポン・チャルムノン氏



在大阪モンゴル国総領事館 総領事 アルタイ・エンヘアマガラン氏

第2部 パネルディスカッション



政府代表 特命全権大使(関西担当) 姫野 勉氏



2025年大阪・関西万博 カナダ政府代表 ローリー・ピーターズ氏



在大阪タイ王国総領事館 総領事 アッカラボン・チャルムノン 氏



駐大阪大韓民国総領事館 総領事 チン・チャンス 氏



在大阪モンゴル国総領事館 総領事 アルタイ・エンヘアマガラン 氏



(公社)2025年日本国際博覧会協会 理事・副会長/京都精華大学 前学長 ウスビ・サコ 氏



(公社)2025年日本国際博覧会協会 ICT局長 菱沼 宏之 氏



<モデレーター> (株)三菱総合研究所 執行役員 高橋 朋幸 氏

